

令和6年度 一般社団法人さいたまスポーツコミッション事業報告書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及び周辺地域にあるスポーツ資源や特徴ある観光資源を最大限活用し、各種競技大会等スポーツ関連イベントの積極的な誘致等の事業を通じて、地域のスポーツ機会を創出することにより、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(2) 概況

① 設立年月日 平成30年12月10日

② 基金 1億1,450万円

③ 実施事業

ア スポーツイベント等の誘致に関する事業

イ スポーツイベント等の運営支援に関する事業

ウ スポーツイベント等の実施に関する事業

エ スポーツ施設等の管理運営に関する事業

オ スポーツビジネスの創出に関する事業

カ 前各号の事業のほか、当法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数（令和7年3月31日現在）

会長 1人

専務理事 1人

理事 3人

監事 1人

(2) 令和7年3月31日現在の理事・監事

役 職	氏 名	就任年月日
会 長（代表理事）	遠 藤 秀 一	令和6年6月28日
専務理事(代表理事)	本 田 秋 満	令和6年6月28日
理 事	平 岩 光 現	令和6年6月28日
理 事	佐 野 秀 彦	令和6年6月28日
理 事	田 口 誠	令和6年6月28日
監 事	河 合 あゆみ	令和4年6月24日

3 理事会及び総会の開催

(1) 理事会

開 催 日 時	議 決 事 項 等
令和6年4月11日 (理事会決議事項の提案)	議案第1号 契約の締結について
令和6年5月23日 (第1回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第2号 令和5年度事業報告について 議案第3号 令和5年度決算報告について 議案第4号 公益財団法人 JKA 補助事業の実施について 議案第5号 定時社員総会の開催及び日程について 議案第6号 役員候補者の推薦について
令和6年6月28日 (第2回理事会)	議案第7号 役員の選任について
令和7年3月26日 (第3回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第8号 令和7年度事業計画について 議案第9号 令和7年度収支予算について 議案第10号 規程の制定について 議案第11号 役員賠償責任保険の加入について 議案第12号 契約の締結について 議案第13号 役員の選任について

(2) 社員総会

開 催 日 時	議 決 事 項 等
令和6年6月28日 (定時社員総会)	報告事項 令和5年度事業報告について 議案第1号 令和5年度決算報告について 議案第2号 理事の選任について

4 職員の状況

令和7年3月31日現在の職員

- ① プロパー職員 7人
- ② 契約職員 1人
- ③ 市派遣職員 6人
- ④ さいたま観光国際協会派遣職員 2人
- ⑤ 嘱託職員 2人
- ⑥ 企業出向職員 1人
- ⑦ 臨時職員 2人

5 事業の実施状況等

1 スポーツイベント誘致・支援事業

(1) スポーツイベント誘致活動

各種スポーツ競技団体等に対して誘致を行った。

＜令和7年度開催予定大会数＞51大会 ※令和7年3月31日現在

(2) スポーツイベント支援活動

スポーツイベント開催助成金制度による財政支援、広報・PR、各種資料・情報提供、行政機関への調整等、主催者の要望に応じた各種運営支援を実施した。

＜令和6年度支援大会数＞56大会

(3) スポーツ合宿誘致活動

自主管理施設「Sフィールド」を活用したスポーツ合宿の誘致を行った。

＜令和6年度合宿開催数＞4団体：計11日間

(4) プロモーション活動

スポーツイベントの誘致、スポーツツーリズムの促進並びに関係団体との交流拡大等を図るため、プロモーション活動を展開した。

・「CHIMERA GAMES Vol.9」

期 間：令和6年5月18日(土)～19日(日)

会 場：青海臨時駐車場NOP区画

主 催：一般社団法人 CHIMERA Union

内 容：アーバンスポーツイベントPR及び事業紹介

・「Japan Sports Week2024 LIVE!NT / レジャー&アミューズメント EXPO (AMLEX)」

期 間：令和6年7月3日(水)～5日(金)

会 場：東京ビッグサイト

主 催：RX Japan 株式会社

内 容：ポスター掲示及びスポーツイベント開催支援の案内、スポーツ施設利用案内パンフレット配布

・「さいたま市花火大会」

期 間：令和6年7月28日(日)

会 場：大和田公園会場

主 催：さいたま市花火大会実行委員会

内 容：パンフレットに広告掲載及び花火打ち上げ前に事業紹介原稿読み上げ

・「SPORTEC 2024」

期 間：令和6年7月16日(火)～4日(木)

会 場：東京ビックサイト

主 催：SPORTEC 実行委員会

内 容：スポーツイベント開催支援の案内、スポーツ施設利用案内パンフレット配布

・「第34回台湾国際快樂健行 出展及び現地旅行会社訪問」

期 間：令和6年11月7日(木)～11月12日(火)

会 場：台湾・台北市内

主 催：中華民国山岳協會 他、現地旅行社

内 容：さいたまマーチPR及び弊社事業の紹介

- ・「彩の国ビジネスアリーナ」

期 間：令和7年1月24日（水）～25日（木）

会 場：さいたまスーパーアリーナ

主 催：埼玉県

内 容：SSC 事業紹介・地域版 S0IP 事業の紹介等

(5) 経済波及効果調査活動

スポーツイベント開催助成金を支出したイベントを中心に消費額アンケート調査による個別基礎調査を実施するとともに、スポーツイベントにおける経済効果額を推計した。

<令和5年度経済効果推計額（令和5年4月～令和6年3月）> 約69.29億円

(6) 情報収集活動

①一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）との連携

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する同機構と連携を図りながら、各種スポーツイベント情報を収集した。

②プライドリームス埼玉運営（PDS）との連携

埼玉県内トップスポーツチームとの交流及び連携を図るため、同団体の会計業務、情報発信を行った。

2 スポーツイベント開催助成事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、18件（総額12,005,000円）を助成した。

3 ウォーキングイベント開催事業

第13回さいたまーチ〜見沼ソーデーウォーク〜

期間：令和7年3月29日（土）・30日（日）

会場：さいたま新都心及び見沼田んぼ周辺

コース：見沼田んぼ見沼田んぼ北ルート30km・20km・10km/南ルート20km・10km・5km/

主催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般社団法人日本ウォーキング協会、
NPO法人埼玉県ウォーキング協会

共催：さいたま市、さいたま市教育委員会

参加者数：1日目2,244人 / 2日目3,658人 （参加者、大会運営役員等含む）

4 スポーツシュール事業

(1) スポーツ施設運営事業

・大宮けんぽグラウンドSフィールド（野球場8面・テニスコート10面）の管理運営及びイベント利用のセールス活動を行った。

貸出実績：野球場2,325件（93,000人）／テニスコート3,946件（39,460人）

合計6,271件（132,460人）

・さいたま市の指定管理業務を共同事業体で受託し、その構成員として、広報や自主事業の実施など指定管理施設の運営の一翼を担った。

○さいたま市与野体育館 令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間）

スポーツ整体等を実施するボディケアルームのほか、スポーツボランティア入門教室、与野体育館卓球交流大会の開催、スポーツ DAY 等の教室やイベントを実施した。

事業実績：スポーツ振興 7 事業・24 日程の企画・制作・運営

○さいたま市大宮武道館 令和 5 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日（5 年間）

ウォーキングフットボール教室や体組成測定会・健康運動相談会、武道体験（柔道）などの複数競技を体験できるスポーツフェアを実施し、地域の交流拠点となる事業を創出した。

事業実績：9 月 21 日（土）大宮武道館スポーツフェアの企画・制作・運営

○さいたま新都心公園 令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日（5 年間）

未利用時間のさいたま新都心公園の集会室を活用した、定期スクールとしてミセスチアダンス教室、アフタースクール事業を実施した。また、公園へのにぎわいと公園への来場を促進するイベントとして「スポコミフェス」、地域団体と連携をした「北袋プレイ&マーケット」を開催した。

事業実績：スポーツ振興事業 4 事業

4 月 29 日（祝・月） スポコミフェス 企画・制作・運営

10 月 26 日（土） 北袋プレイ&マーケット 企画

(2) バスケットボール活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、バスケットボール人気の高まり等を踏まえ、バスケットボール環境の整備と競技力の向上を図る「バスケファンプロジェクト」を行った。

実績：練習会 1 回 参加人数 36 人、フリースロー大会 4 回 参加人数 986 人

(3) 女子サッカー等活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、女子中学生年代等のサッカーの活動場所等を確保するとともに、競技技術の向上や、心身の健康や成長を支える学びの機会を提供する『スマイルプロジェクト』を行った。

また、市内高等学校女子サッカー部との部活動体験練習会（計 3 回）や、バスを活用した県外遠征に加え、女性指導者の育成に資する取組として、審判講習会への参加募集も行った。

実績：練習会 10 回、大会参加 1 回、交流試合 2 回、参加人数延べ 399 人

(4) テニス活性化事業

S フィールドテニスコートを活用した自主事業として定期的な主催大会を開催し、収益化を図る「S フィールドカップ」、「S フィールドリーグ」を行った。

実績：S フィールドカップ 23 回、参加人数延べ 1,773 人

S フィールドリーグ 37 回、参加人数延べ 1,724 人

(5) アーバンスポーツ活性化事業

市民スポーツ実施率の向上及び地域住民の交流の創出に向けて、子育て世代の親子を中心にアーバンスポーツの体験機会の創出及びルール・マナーの普及啓発を推進するため、BMX、スケートボード、インラインスケート、ダンス等体験イベントや、スクールキャラバン活動、ルール・マナーの普及啓発業務を実施した。

実績：体験イベント 10 回 参加人数延べ 6,085 人、スクールキャラバン 4 回 394 人

(6) スポーツイベント受託事業

①さいたま市版 SOIP (Sports Open Innovation Platform) 事業

さいたま市をはじめ我が国が直面する社会課題の解決や、さいたま市における新たなコミュニティの創出、関係人口増加に寄与する価値創出を図り、スポーツ産業をはじめとする新産業の創出及び既存産業の活性化を目指す、さいたま市版 SOIP 運営事務局を実施。令和 6 年度は浦和レッドダイヤモンズとジービック社・埼玉大学による「試合実施時のカーボンオフセットを目指すモリンガ育成事業」と大宮アルディ

ージャ（現：RB 大宮アルディージャ）と株式会社 SAL による「平日スタジアム活用活性化に向けたスポーツ学童事業」の2つを取り組んだ。両事業ともに年度内に事業着手への準備が整い、令和7年度は正式な事業開始を目指し取り組み継続をしている。

あわせて令和5年度にスポーツ庁 SOIP 事業として取り組んだ、三菱重工浦和レッズレディース、大宮アルディージャ VENTUS、さいたまマラソン、さいたまブロンコスの4チームとの共創プロジェクトに関しては1→10 事業開発の伴走を継続実施した。

②Sport in Life 推進事業

スポーツ庁公募事業「Sport in Life 推進プロジェクト（スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業）」において、一般社団法人日本ウォーキング協会と連携し、「SAITAMA ウォーキングアワード 2024」を実施した。アプリウォークと GPS アートウォークの2つの部門を設け、楽しみながらウォーキングに取り組むことのできるプログラムの実証実験を行った。

アプリウォークには延べ293名が参加（健康マイレージ連携含む）、GPS アートには9名15作品の応募があった。

参加者の約85%は21～60代の働く世代で、68%以上が「運動習慣が向上した」と回答するなど、継続意欲の高い層への効果が確認された。

③埼玉県内のプロスポーツチームと連携した婚活事業

埼玉県の公募事業「県内のプロスポーツチームと連携した出会いのきっかけづくりとなる婚活イベント業務委託」において、株式会社日本旅行及び株式会社 IBJ と共同で提出（事業実施・全体統括：株式会社日本旅行）し採択された。浦和レッドダイヤモンズ、RB 大宮アルディージャ、埼玉パナソニックワイルドナイツ、埼玉西武ライオンズ、さいたまブロンコスと婚活イベントを開催し、5回合計249人の参加、46組のカップルが成立した。

④沖縄市スポーツ活用 NEXT 人材

沖縄市観光物産振興協会（沖縄市スポーツコミッション）と連携し、沖縄市の地域資源を活用した新たな教育旅行向け探求学習プログラムを造成し、モニターツアーを実施した。

(7)アフタースクール事業

さいたま新都心公園の集会室にて、毎週1回、スポーツ教室、寺子屋教室の一気通貫のアフタースクールを開設した。基礎「体力」の向上とスポーツをする上での創造性・問題解決能力など「知力」を鍛え、心・知・体をバランス良く備える子供の育成を目指す。仲間・地域とのつながりを得られる環境づくりにも寄与した。

(8)キッズクリテリウム事業

ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの10回目の記念大会を迎え、「たのしい発見、笑顔がいっぱい！みんなのキッズクリテリウム」をコンセプトに、令和6年11月2日（土）に、子どもたちのフェス「キッズクリテリウム」をさいたまスーパーアリーナ コミュニティアリーナにて開催。主なコンテンツは、「スポコミフェス」、「キッズクリテカップ」、「SAITAMA CHEER FES」を実施。入場者数3,934人。

(9)（仮称）次世代型スポーツ施設整備事業入札参加に向けた検討

さいたま市が公表している（仮称）次世代型スポーツ施設整備事業の入札参加に向け、建設、設計、維持管理、運営等を担当する企業との協議・調整や、主にスポーツ分野における当社の役割等を検討した。企業グループを組成し、令和7年2月に入札参加資格確認申請書を市に提出した。

5 さいたまクリテリウム開催事業

2024 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催

令和6年11月2日に、J:COM presents 2024 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムとして、さいたま新都心駅周辺を会場に、メインのクリテリウムレースをはじめ、タイムトライアルレース、一般参加体験イベントを開催した。

日 程：令和6年11月2日（土）

会 場：さいたま新都心駅周辺

主 催：さいたまクリテリウム組織委員会、一般社団法人さいたまスポーツコミッション

共 催：埼玉県、さいたま市、A.S.O.

特別協力：さいたまクリテリウム推進委員会

競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟

後 援：経済産業省、観光庁、スポーツ庁、自転車活用推進本部

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

プレゼンティングスポンサー：JCOM 株式会社

オフィシャルメディアパートナー：朝日新聞社、読売新聞東京本社

放 送：J:テレ/ど・ろーかる 11月2日(土)14:30～17:00

J SPORTS/J SPORTS オンデマンド 11月2日(土)14:30～17:00

YouTube ライブ配信 11月2日(土)12:10～17:30

(J SPORTS 公式アカウント)

BS 日テレ 11月24日(日)16:00～17:00

テレビ埼玉 10月26日(土)18:30～19:00

NACK5 10月18日(金)～11月1日(金)

内 容：（１）クリテリウムレース（海外招聘選手、国内選手によるレース）

（２）タイムトライアルレース

（３）コース及びイベント会場での一般参加体験イベント

（４）パートナー企業・自転車関連企業のPRブース

（５）賑わい創出イベント

（６）パブリックビューイング

（７）海外招聘選手との交流

（８）「さいたまるしえ」および「サイクルフェスタ」の同日開催

来場者数：さいたま新都心駅周辺 約8万3千人

さいたまるしえ 約3万2千人

サイクルフェスタ 約7千人

協賛企業：62社

オフィシャルサポーター：・レース満喫プラン : 20口

・選手ふれあいプラン : 70口

・ライダーズプラン : 23口

・アリーナ観戦プラン : 665口

・2階スタンド席観戦プラン : 544口

・3階バルコニー席観戦プラン : 101口

・コース沿道・4階スタンド観戦席セットプラン : 1000口

経済波及効果：約 30 億 8,300 万円（市内：約 6 億 5,100 万円 県内：約 7 億 6,400 万円）

広告換算値：約 13 億 500 万円（国内 約 2 億 8,200 万円 海外 約 10 億 2,300 万円）

（海外約 6,182,000 ユーロ ※1 ユーロ＝165.47 円）換算

6 自転車文化醸成事業

・自転車乗り方教室

自転車を補助輪なしで乗ることにチャレンジする子どもを対象にした自転車乗り方教室及びランバイク体験を市内 10 区で開催し、324 人の参加をいただいた。また、ランバイク体験も 59 人の方に参加いただいた。令和 5 年度から、市内のプロロードレースチームであるさいたまディレーブに委託し、地域密着感を推進した。

申込者 1,924 人

参加者 324 人

ランバイク体験参加者 59 人

・ランバイクレース大会開催

「ランバイクの楽しさをみんなに」をコンセプトに、自転車に乗る前の練習として、またスポーツに取り組むための体幹を鍛え、各種スポーツ競技に入りやすくしていく練習に最適なランバイクに触れる機会を創出することから、ランバイクの大会を主催した。また、今回初めて、世界 25 ヶ国、400 万人以上が愛用するランバイク販売会社「ストライダー」の日本代理店と協力し、大会を開催した。さらに、事前イベントの「キッズクリテリウム in イオンモール浦和美園」にて、ストライダー体験会を開催（参加人数 124 人）し、ミニレースの優勝者にはキッズクリテカップの参加権を付与し、さいたまクリテリウムとの連携及び誘客を図った。

名 称 キッズクリテカップ

主 催 一般社団法人さいたまスポーツコミッション

日 程 令和 6 年 11 月 2 日（日）

会 場 さいたまスーパーアリーナ コミュニティアリーナ

実施内容 2～6 歳を対象としたレースの実施。また、さいたまクリテリウムと同じレイアウトのコースを採用。また、山岳賞やスプリント賞を設け、本場ツール・ド・フランスの要素を取り入れた。

参加数 ・2 歳の部：36 人

・3 歳の部：91 人

・4 歳の部：74 人

・4～6 歳の部：30 人

合計参加者数：231 人

7 ランニングイベント開催事業

さいたまマラソン 2025 の開催

令和 7 年 3 月 16 日に、国内最大級の多目的アリーナ「さいたまスーパーアリーナ」を発着点とし、マラソン初級者も上級者も、子どもも大人も、家族と一緒に、仲間と一緒に、誰もがスポーツを楽しみ、誰もが参加できる、市民マラソン大会として、フルマラソンを開催した。特に、ゴールをさいたまスーパーアリー

ナ内とするなど、特別感を演出した。

同日開催イベントとして、さいたまマラソンフェスティバルをコミュニティアリーナ内で開催。アーバンスポーツや、協賛企業による野球、サッカー、バスケットボールなどの体験ブースも実施した。

期 日 令和7年3月16日(日)

会 場 さいたまスーパーアリーナ(メイン会場)

駒場運動公園(8kmの部フィニッシュ会場)

内 容 フルマラソン、チームラン、親子ラン、車いすラン 等

主 催 さいたま市、一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般財団法人埼玉陸上競技協会

共 催 さいたま市教育委員会、公益財団法人さいたま市スポーツ協会、
さいたま市スポーツ推進委員連絡協議会、さいたま市レクリエーション協会

後 援 埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市自治会連合会、さいたま商工会議所、越谷市、
越谷市教育委員会、越谷市体育協会、埼玉高速鉄道株式会社、埼玉新都市交通株式会社、
東武鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社大宮支社

主 管 さいたま市陸上競技協会

※一部の種目を「さいたまマラソン in 埼スタ」と称し、関連イベントとして開催

開催日・会場 令和6年11月16日(日) / 埼玉スタジアム2002

協賛企業 24社

申込者/参加者 【さいたまマラソン2025】

- ・マラソンの部 14,972人/11,570人
- ・8kmの部 1,660人/1,012人
- ・車いすの部 26人/8人
- ・エンジョイランの部(3km) 627人/318人
- ・エンジョイランの部(1.2km) 300人/189人
- ・親子ランの部 1,672人/836人

【さいたまマラソン in 埼スタ】

- ・ペアランの部 714人/558人
- ・4時間チームランの部 889人/861人

コース沿道観客者数 約46,000人

さいたまスーパーアリーナ来場者数 約12,000人

駒場運動公園(8kmの部フィニッシュ会場)来場者数 約200人

8 事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。